

第5回からふるカフェ サマーパーティ in 福島

8月30日、サマーパーティを福島市アクティブシニアセンター Aoz (アオウゼ) で開きました。福島は8月半ばまでは猛暑が続きましたが、8月後半になると秋の気配がただよっていました。パーティ当日は天気あまり良くなかったにもかかわらず、7月の日本語能力試験、8月の保養プログラムを終えた白河サロンや福島サロンから28名が駆けつけてくれました。

今回のパーティのコンセプトは、「リラックスしてお互いの国や福島/日本で暮らしていくうえで楽しいこと、難しいこと、多文化社会を実現するために福島や日本社会にこうあってほしい、ということ、食べたり飲んだりしながら、「おしゃべり」する」というもの。まさにこのコンセプトどおりに、みなさん、ゆったり飲んだり食べたり、この夏の思い出を共有したり、今までのEIWANの活動をとおして

知り合った者同士でおしゃべりしたり、大いに盛り上がりました。参加者の方が、おいしい「おにぎらず」やお漬物などを持ってきてくださってテーブルも華やかになりました。初めてEIWANの集まりに参加してくれた方や、ご家族を連れてきてくださった方もいました。

参加者のみなさんからは、「外国から来ていることを気にしないで、リラックスして過ごせる雰囲気がよかった」、「こういう集まりを続けて欲しい」などなど、ありがたい感想をいただきました。みなさんの感想を励みに、からふるカフェがリラックスして多文化を語れる場、いろいろな思いを共有できる場となるように、私たちEIWANもがんばります。ご参加ありがとうございました。

●水嶋いづみ (EIWAN 運営委員)



▲総勢28名、出身国は(日本を含めて)6カ国!

福島移住女性支援ネットワーク (EIWAN)

〒960-8055 福島市野田町2-3-2 神野ビル3F東 (JR福島駅西口から徒歩7分)
電話 080-8215-1556 メール eiwan311@gmail.com
ホームページ <http://gaikikyo.jp/shinsai/eiwan>
フェイスブック <https://www.facebook.com/eiwanfukushima>



福島移住女性支援ネットワーク (EIWAN)

Empowerment of Immigrant Women Affiliated Network

第10号

◆発行◆2015年9月11日(隔月刊)

●外国につながる移住女性と地元市民の協働をめざして●

夏のリフレッシュ・バスツアー

～ひとつの家族のように～

EIWANは年2回、リフレッシュ・バスツアーを開催しています。2015年度1回目のバスツアーは、青い空がまぶしい7月12日(日)に行ないました。

対象は、ふだんEIWANの日本語サロンや、からふるカフェに参加している移住女性とその家族、友人たちなどです。総勢43人(福島24人、白河12人、運営・協力委員7人)、日本を含め5カ国の子どもから大人までの各世代が、まさに大きな家族のように1台の観光バスにおさまり、山形県の高畠ワイナリーとお菓子工場(シベールファクトリーメゾン)を訪ねました。ワインやお菓子のラスクができる工程をガイドしていただき、試飲や試食を楽しみました。とくにワイナリーにある葡萄畑を初めて見た、と好評でした。

私たちは、移住女性の家族や友人と出会え、その生活のようすを伺い知ることができました。また、往復4時間のバスの中で、皆思いきりおしゃべりし、交流を深めることができました。移住女性たちは、EIWANでは、日本人など地域の方々のみでなく、

福島で同じようにがんばっている他の国の女性たちとも出会え、横につながれると喜んでくれました。

また今回は、日本人の友人家族の参加があり、「色々な国の人たちと話ができて、ともに旅行して楽しかった。肩のほらない国際交流ができた」とアンケートに書いてくださいました。「ぜひ、またこのような機会を設けてほしい」と言われたことは、私たちにとって大きな励みとなりました。

移住女性たちは、家事、育児、介護、昼夜を問わない仕事、日本語学習に資格試験の勉強、そして国際理解/交流/協力のボランティア活動などで、めまぐるしい日々を過ごしています。そのような中で、自ら休養を得ることはむずかしいと言えます。EIWANでリフレッシュの機会を提供することは、大切な活動のひとつであると考えています。次回は、いわき地区の移住女性を対象に秋のバスツアーを計画しています。また楽しみ、新たな出会い、交流を深めていただきたいと思います。

●前田圭子 (EIWAN 運営委員)



リフレッシュ・プログラム 2015 in 京都

7月24日から28日まで、福島のフィリピン人女性の子ども7名と大人(引率者)1名に、京都滞在を楽しんでいただきました。

福島から京都まで5時間に及ぶ移動では、東京駅で東海道新幹線に乗り遅れるというハプニングに見まわれながらも、到着直後のウェルカムパーティでは元気に自己紹介がなされ、小学3年生から高校1年生までの多彩な参加者との出会いに、私たち京都YWCAのメンバーはワクワクしました。

2日目・3日目は、10円玉に刻まれている平等院見学やお茶室体験といった宇治観光の後、郊外の民家に滞在しました。庭に張られたテントに大喜び!

せまいテントにギュウギュウになりながらも夜のおしゃべりの時間を楽しんでいたようです。BBQ、川での水あそび、すいか割り、花火など「夏の外遊びの王道」を楽しんだ上に、引率者のJさんが作ってくれたフィリピン料理も食べることができました。この時期、京都は暑さのピークでしたが、宇治の避暑地での滞在は、体を休める効果もあったようです。

4日目はEIWANから前田さん、深見さんも迎えて京都観光。観光客世界No.1の伏見稲荷大社、金閣寺、そして太秦映画村と、こちらは「京都観光の王道」を体験してもらいました。映画村では、子どもたちはお化け屋敷に大満足したようです。その間、Jさんは舞妓さんになっていましたよ!

今回、初対面の参加者がいたり、小学生2名もいたので、5日間のプログラム中にホームシックになるかも、というこちらの心配をよそに、みなさん、最後まで笑顔で過ごされました。

帰りの道中では再び、東京駅で東北新幹線に乗り遅れ、1時間も東京駅で足止めされたようですが、逆に別れづらくさせてしまったようで、福島駅ではなかなかサヨナラできなかつたと聞いています。昨年に引き続き、EIWANからの参加者を迎えました。毎回、参加者のみなさんに元気ももらって

ます。みなさんとまた会える機会があることを願っています。

●岡 佑里子(京都YWCA)



▲観光客世界 No.1 の伏見稲荷大社にて

◆神戸でも保養プログラム◆

◆7月22～28日、「ふくしま こうべ こどもプログラム2015」が実施された。これは、神戸の日本キリスト教団12教会が受け入れて行なっているプログラム。今回、移住女性の子どもたちにも参加の呼びかけが来て、EIWANとしては京都プログラムと並行するため、中国人コミュニティに広報した。

◆広報してからすぐに、いわき「心ノ橋」と郡山「幸福」から、子ども10人・移住女性5人の申し込みがあり、申込書の代筆やら諸連絡の周知を手伝う。

◆8月、福島に帰ってきた子どもたちに感想を聞くと、充実したプログラムを満喫したようで、みな「楽しかった」「来年も行きたい」と言う。でも、初めて移住者を受け入れてくれた実行委員会の方々のご苦勞を考えると……。それでも、福島の子どもと移住女性たちにとっては初体験の保養プログラムであり、貴重な出会いになったはず。神戸の皆さん、本当にありがとうございました。(信行)

子どもキャンプ in 高篠山

9月12～13日、一泊二日の子どもキャンプ。キャンプの正式名称は「外国にルーツをもつ福島子ども短期保養プログラム in 高篠山公園」。主催は須賀川「つばさ～日中ハーフ支援会」と「EIWAN」。「つばさ」がもっぱら参加者募集とキャンプの準備をしてくれ、豪雨が続く中で決行を決断したのは、前日の午後。食材の買い出しは夕方になってからである。

久しぶりの晴天のもと、郡山市の山奥の絶景地にある高篠山キャンプ場には、須賀川市や郡山市、天栄村、茨城から親子が集まり、また新潟からは中国領事館、須賀川から市議などが駆けつけた。結局、子ども14人、大人31人となる。どの家庭も、お父さんたちが「動員」されたため、人数が膨らんだのである。

開会式のあと、恒例のバーベキュー。お父さんたち(日本人)はひたすら肉と野菜を焼き、お母さんたち(中国人)はそれを、今日の主役である子どもたちに食べさせる。食後、子どもたちはさっそく探検に出かける。一段落した後、かいがいしく働くお父さんたちを集めて「オヤジ会」をやるが、なかなか盛り上がらない。夜は、高校生をリーダーに男の子、女の子、それぞれバンガローに泊ませ、親は

干渉しない/世話をしないことにする。

バンガローの前で大人たちは、テーブルを囲んで交流会。初めて会う人も多く、自己紹介。見合いで結婚したのか、恋愛結婚なのか、鋭い質問が飛ぶ。お父さんたちの多くが酔いつぶれてしまっても、お母さんたちの日本語と中国語のチャンポンの会話を終わることがない……。深夜、久しぶりに寝袋で寝る。

翌日は、大人たちは山頂めざしてハイキング、子どもたちは屋外球戯場でバスケットやサッカーに興じた。昼前に駐車場解散。それでも、大人たちで反省会をしっかりとやり、来年のキャンプに備えた。

●佐藤信行(EIWAN代表)

つばさ～日中ハーフ支援会/EIWAN共催プログラム

参加者募集

外国にルーツをもつ福島子ども短期保養プログラム
夏キャンプ in 高篠山公園

参加者：福島県内在住の親子

日時：2015年9月12日(土)14:00～13日(日)11:00

場所：福島県郡山市連綿多田野字高篠1-6 (電話：024-957-3748)

参加費：大人(高校生以上)71,000円
子ども(中学生以下)無料

申込方法：参加申込書を記入して、8月21日までに電話かFAXかメールで申し込んでください。40名限定、早めに申し込んでください。

お問い合わせ・申し込み

茨城 支 TEL:080-1843-8206 FAX:0289-79-4654

岡本 総務 TEL:090-9749-0618

メール: info@ieforhals.jp



▲子どもキャンプを準備したお母さんとお父さんたち